

「今月の主な紙面」

2. 全国青年ジャンボリー、介護・認知症電話相談

3. 全国介護学習交流集会

4. 研修医日記、相談室、クロスワードパズル



愛知県民主医療機関連合会

〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9番3号

☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112

発行責任者 武田 修三

URL : <https://www.aichiminiren.jp/>

E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp

第450号

2年ぶりの開催

愛知民医連第51回学術運動交流集会

オンラインで各分野の取組を交流



記念講演「人権 Café へようこそ」の黒澤弁護士

（1）人権は公共の福祉に反しない限り保障されるとあるが、

3. 人権にまつわる誤解

（1）人権は公共の福祉に反しない限り保障されるとあるが、

11月23日、労働会館本館にて第51回愛知民医連学術運動交流集会が開かれました。1968年以来ほぼ毎年開かれてきたこの集会ですが、昨年はコロナの影響で中止。今年も予定していた国際会議場での集会は中止となり、リモート開催となりました。

午前中は全体会の講演（今年はリモート）、午後は分科会という形式は例年と同じでした。分科会発表者、共同研究者は会館へ来てもらい、座長、要員の方も直接会場に来ていただき、その他はリモート参加しました。演題数が57演題（第50回は86演題）と減少したため、心配しましたが、今年の参加者は617人（会場96人+リモート521人）で50回の618人とほぼ同数でした。

1. 憲法とは権力を閉じ込めておくための檻

権力を委託した代表者はしばしば暴走するためそれを法でしるのが、憲法である（立憲主義）。

2. 日本国憲法の人権保障個人の尊重…第13条

すべての国民は個人として尊重される。（誰かがその人にしかない『その人らしさ』を大事に自分らしく生きていい）

平和生存権…平和とは単なる戦争のない状態ではなく、差別、貧困や暴力による支配が無くなって初めて平和と言える。

3. 人権にまつわる誤解

（1）人権は公共の福祉に反しない限り保障されるとあるが、



県連医活委員長 安藤 達志 協立総合病院 医師

6分科会を開催 会場参加者が盛り立てる

午後6分科会が開かれ演題数は57でした。法人別ではみなと20、北9、名南11、尾張13、ファルマ2でした。職

公共の福祉とは秩序でなく、他者の人権とぶつかった時という意味

（2）権利には義務が伴うと言われることがあるが、人権は生まれながらにして持っている権利であり、義務とは無関係。

4. 主権者であるという事

政治にどんなに無関心でも、無関係ではられない。選挙に1票は微力だが、無力ではない、微力が積み重なり、強大な力になる。

なお選挙の立候補者で自分と全く同じ意見の人はいない。よりましな人を選ぶのが選挙である。

非常に分かりやすい講演で、日ごろの疑問がいくつか解決しました。国会で改憲勢力が3分の2の議席数を超える危機的な状況において、タイムリーな講演でした。イラストにかかれてある、濫の中にいる権力者の象徴であるライオンがかわいくて、暴走するようには見えませんがだまされてはいけません。

職員交流の場として 学連交を絶やさず リモートも活用

今年とは開催にこぎつけ、皆様方の協力でそれなりに成功しました。今年も中止していたら50年以上続いたこの集会が消滅してしまっただけです。けれども、この集会は、愛知民

種別では看護師31、薬剤師6、リハ10、介護士8、事務2。医師、歯科の発表が0、事務も2と少なく、残念でした。参加者はリモートも含め計372人でした。座長賞はみなと1、北1、尾張4でした。

また、各分科会で会場参加者からの質問をマイクが拾えないため、リモートで聞こうという状況になっていくことがわかり、座長が質問を回復するようにしました。このことで後半からはチャットからの質問も増えました。しかし、会場参加者には、質問が出そうになく、雰囲気を感じて質問してくる方もいて、リモートだけでは盛り上がりなかつたと思います。



分科会 「介護活動」



分科会 「臨床報告2 医療安全・感染対策」

今回は慣れない形式なのか、奮闘された、要員、司会者、演者の方々、リモートも含め参加されたすべての方々に感謝します。また、現地参加人数を伸ばすためにも関わらず、84人の方が、感想文を提出されました。ありがとうございます。来年のことは、まだ決まっています。コロナが読めないからです。しかし、バトンはつなぐりました。来年も開催する予定です。宜しくお願いします。

しかし、リモートがあつたので参加したという方も見えます。勤務の合間をみて参加した方までみえます。それを考えると、リモートも重要だったと考えます。

すべの方々に感謝 来年も開催予定です

☆これまで整備が出来ていなかったホームページ、コロナ禍で組合員さんのデジタル化も進むホームページの需要が増えたため、職員・組合員・利用者へのアンケートを実施中。

☆12月は年末増資月間。昨年出来なかった統一行動を実施。久しぶりに職員と組合員が共同で地域を訪問。

名 南

☆10月・12月共同組織強化月間実施中。新型コロナウイルス感染者減もあり、感染対策を

☆2021年11月に南医療生活協同組合創立60周年、南生協病院開設45周年を迎えました。各地区やブロックで南医療生活協同組合の記念すべき年を祝う、地域だんらんまつりが延べ3000名の参加で開催されました。

北

☆11月27日地協歯科所長事務長会議にて、「SDGsの会を通して」というタイトルで20代歯科技工士が報告。「人権」「平和」「環境」を、民医連綱領と重ね合わせ自分たちができるところを考えています。

はみんぐ

☆下半期、予算未達成が続いており、予定していた「たまり場」建設の議論を一旦中止しています。

十分行つた上で、健康まつり・地域ごとの健康懇談会（健康チェック、体操、医師の話）を少しずつ再開している。いづれの企画も予想を上回る参加者で、コロナ禍での健康企画への地域要求の高まりを実感。

尾 張

☆県連学術運動交流集会へ職員165名が参加。

☆健友ネット集会に代わり尾張健友会グループ学術運動交流発表会を開催。現在23演題が集まっています。

2月11日より閲覧可能。

☆乳腺外科医師冤罪事件無罪を求める署名は職員から1か月で880筆集まりました。

ファルマネット

☆薬学部の実務実習生のまとめ報告。在宅緩和ケアの症例で、家族の思いに寄りそったすぐれたレポート。大変な中進んでいるわがば薬局の在宅薬剤訪問活動ですが、若い人に良い刺激を与えたいと、3回目の接種、飲み薬開発などの動きをうけて、コロナワクチン後日談という班会テーマを準備しています。

～今年もやります！
全国JB!!
新たな歴史の1ページを
あなたと～

つながり、学び、成長する 第39回民医連全国青年ジャンボリー

〈テーマ・スローガン〉「つながる心、つなぐ未来」



全国の民医連の職員とオンラインで仲間になりました

愛知県 観光

- ①愛知県の紹介
- ②国宝
- ③サボテン

各地協のアピール動画大会、盛り上がりました

●皆で力を合わせたらこんなに素晴らしいものができるのかと思った

●新しい発見がありました。活かしていきたいです

●他県の方と交流ができておもしろかったです

第39回民医連全国青年ジャンボリーが、11月26～27日にオンラインで開催されました。

ジャンボリーは、「ひとりぼっちの青年をつくらない」を掲げてはじまった、民医連青年職員の自主的活動です。コロナ禍で大人数の集いや学習会が大幅に制限されるも、今回の全国青年ジャンボリーは初めてのオンライン企画として開催されました。

愛知民医連では、各法人で参加に向けた取り組みがすすめられました。新型コロナウイルス感染症の影響で日常のジャンボリー活動も様々な

「感想」

■初めての全国ジャンボリー参加でした。

全国の民医連職員との交流で、同年代の職員が同じ様な悩みを持ち、意見交流

制約を強いられることとなりましたが、愛知民医連からは26人（尾張健康会11人、名南会10人、北医療生協1人、はみんぐ2人、ファルマネットみなみ2人）が参加しました。

各法人実行委員のみなさん、大変にお疲れ様でした。参加された方から感想文を寄せていただきましたのでご紹介いたします。

■今回の人権に関する講演を聴いて利用者さんに対する対応一つ一つが大切であり、考えるだけでなくどう行動に移せるかが大切だと感じました。学んだ事をこれから職場で活かしていきたいと思っています。

北医療生協本部
事務 大星 史雄

■初めての全国ジャンボリー参加でした。全国の民医連職員との交流で、同年代の職員が同じ様な悩みを持ち、意見交流

千秋病院
ケアワーカー
植手 結菜

介護・認知症なんでも無料電話相談（11月11日 介護の日）

政府は国民の「苦悩」、「叫び」を受け止めよ

■「新潟水俣病と新潟民医連の取り組み」講演を聴き、病気に対する差別、偏見について当事者が「身体は治らない。温かい言葉に助けられる」という言葉に心苦し

■「介護・認知症なんでも無料電話相談」が行われました。

11月11日（木）の「介護の日」に合わせ、11回目となる「介護・認知症なんでも無料電話相談」が行われました。

愛知では昨年の4倍の38件の相談があり、全国（23都道府県）でも昨年の2倍となる547件の相談がありました。

主催は、社会保障推進協議会と認知症の人と家族の会。愛知民医連からは各法人の協力でケアマネ、ソーシャルワーカーなど4人が電話相談に応じました

「まずは思いを受け止めてほしい」

寄せられた相談の特徴は、「コロナ禍で施設での介護も在宅での家族による介護も、大変困難な状況が続く、やれる範囲で自己努力を行

現地でみんなに直接会って交流したいです。

千秋病院 看護師
小川 菜鈴

■最初は初めての方たちと慣れないリモートでちゃんとできるか不安でしたが、面白いゲームを通して徐々に打ち解けることができました。

背景に参加者の自己紹介情報があることで話題に困らなかったです。都道府県

の話で盛り上がり、他県の方と交流ができておもしろかったです。やっぱり直接会って話してみたいという気持ちもありましたが、2日間楽しむことができました。

千秋病院 介護福祉士
永津 朱梨

■全国ジャンボリーに初めて参加した。初のオンライン形式ということだったが、都道府県各地のアピール動

面を始めとし皆で力を合わせたこんな素晴らしいものができるのかと思った。しかし、オンライン環境の整備に関しては地域差を感じ、実行委員・参加者は現場で働く仲間であり負担など課題もあるのではと感じた。

名南病院 薬剤師
重本 時江

コロナ禍で起きている大変な状況

つてきたがもう限界、なんとかして欲しい」「まずは思いを受け止めてほしい」との悲痛な叫びが多くありました。



我が家の3にゃんこ

(=^X^=)

ん坊猫に変身中。はなと兄妹です。毎日の生活に癒しをもたらしてくれる大切な家族です！

名南ふれあい病院
外来看護師
小野 なをみ

- (上) はな 8歳
ミックスの男の子
- (中) もか 6歳
ミックスの男の子
- (下) つばみ 8歳
ミックスの女の子



名古屋テレビの取材・報道がありました

介護をする人・受ける人が大切にされる制度に 2021年全国介護学習交流集会ひらかれる



同志社大学・岡野教授

「政府が設計する介護保険制度は公的介護サービスの『保障』ではなく、家庭内介護の限定的な『支援』制度だ。私たちがめざす『介護の社会化』は、政府が介護に対する公的責任を果たし、公的介護保

障を拡大することです」と強調されました。

事業者・労働者・家族からの報告

●補足給付アンケート
現場からの発言では、石川・特別養護老人ホームや、補足給付見直し（8月から実施）のアンケート調査について報告。入居者144名のうち第3段階②に該当される方が45名いることやアンケートに「年金での支払いを超えると施設利用できなくなる。路頭に迷います」などの声が寄せられ、「本人の所有資産からむしり取る仕組みに大きな問題を感じる。コロナ禍で

●ケアマネの状況
宮城一般労働組合コープ福祉会支部・関内照美氏は、

岡野氏は、「コロナ禍は、日本の政治がケアを軽視してきたことを浮き彫りにした。コロナ対策大臣を務めてきたのは経済再生大臣の兼任であり、GOTO Oなどコロナを企業の儲けの機会としてきた。安倍首相（当時）の小中高の一

講演IIでは、中央社保協の「介護保険制度の抜本改革提言（案）」について、全日本民医連・林事務局次長が報告を行いました。



様々な困難を強いられいるなかで低所得者の負担を引き上げる改悪は許されないと報告されました。

●ワンオペ夜勤調査
福祉保育労働東海地本書記長・西田知也氏は、昨年11月に福保労の組合員が夜勤中に倒れて亡くなったことをきっかけに開始した「ワンオペ夜勤調査」の報告をされました。調査結果から「震災があつた時の対応の不安」、「休憩がとれない」、「障がいのグループホームでは月の夜勤日数が27回」などの声を紹介し、「夜勤をしないと生活できる賃金に届かない実態や劣悪な処遇などの労働条件の問題も明らかにした。この状況では職員・利用者の命が守れない。命を守る配置基準を目指して全国の仲間と共に声を上げていきたい」と報告されました。

ケアを中心とした民主主義へ転換を

集会では講演Iを同志社大学教授の岡野八代氏が務め、「ケア労働から新しい民主主義を考える」のテーマで講演をされました。

介護保険を抜本改革し権利として制度実現を

斉休校は子どもたちのケアを考慮せず、日本中が大パニックとなった。医療崩壊と苦闘する医療従事者たちの姿や一斉休校での女性たちの負担増に対して、日本の政治は目を閉ざしている。

なぜか？ケアする側にまわることや想像することもしない人々が政治を担っている。こうしたケアをしない人々一部の無責任な特権者たちは、ケア労働を通して他者のニーズに応えようとしている人たちがどれほどの労力を使い、気持ちを込めて日々のケアを担っているのか？

政治や経済は人の尊厳を尊重するケア実践からその重要性を見習うべきであり、皆さんの声を政治に結び付けてケア労働を評価できる人間らしい社会にしていけることが必要。矛盾を抱えた人々が立ち上がったときに社会は動きまわす」と語られました。

全日本民医連、中央社保協・全労連による実行委員会主催で、2021年全国介護学習交流集会が10月31日（日）に開催されました。コロナ禍のもと、必要不可欠な営みとして介護の大切さが明らかに。一方、介護難民が生まれ、事業者・労働者も国が感染対策を現

状況です。スローガンは「介護をする人・受ける人が大切にされる介護保険制度への転換をーケアを社会の中心にー」。オンライン参加も含めて全国から181名が参加しました。愛知民医連では介護職部会が各法人の介護職員にオンラインでの視聴を呼びかけまし

た。

である。そして、ケアワークがもたらす「利益」は、ケア関係にある者だけに限らず、じつは社会全体に利益をもたらしている。だから、ケア労働に携わる人たちがこそが社会から一番大切にされないといけない。

政治や経済は人の尊厳を尊重するケア実践からその重要性を見習うべきであり、皆さんの声を政治に結び付けてケア労働を評価できる人間らしい社会にしていけることが必要。矛盾を抱えた人々が立ち上がったときに社会は動きまわす」と語られました。



最後の行動提起では、全労連・前田博史副議長より、

「①学んだことを職場や地域に広め、介護保険制度の抜本的転換の必要性を社会に訴えること、②そのために介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名や、③介護保険制度の抜本改革提言（案）を活用し、自治体要請などに取り組むことが提起されました。



私は小学4年生の息子と2年生の娘がいます。子どもたちと趣味の釣りや音楽をする時間が私にとって楽しくお気に入り



子どもの時間です。息子とは数か月に1回のペースですが、琵琶湖に釣りに行く事が楽しみな時間です。息子が釣れた時には自分が釣れた時以上に嬉しかったです。娘とは毎週1回ドラム教



北医療生活協同組合
デイサービス城西
福田 隆

《行動提起の内容》

今回全国介護学習交流集会に参加し、印象に残って

いるのが「生活援助は、個別性はあるが専門性は認め

選挙にも参加していきたいです。



愛知民医連・
介護職部会 部会長
松原 竜二
名南介護老人保健施設
かたらいの里 介護主任

《オンライン参加の感想》

「生活援助は、個別性はあるが専門性は認め

に必要とされ、賃金をあげるべきだーという声が社会全体に広がっていくと良いと感じました。

また、社会の一員として選挙にも参加していきたいです。

研修医日記

慈愛にあふれた目を忘れない



協立総合病院 研修医2年目
佐藤 圭亮

「もう我慢できません。院の生活に我慢できなくて退院させてください。まだ治療が必要でリスクを説明した中のことだった。隔離入

向けられた不信の目から手遅れであることを悟った。

が悪かった。パニック状態に陥り、嘘つき呼ばわりされたこともあったが毎日必ず何うようにした。すると自分の気持ちを聞いてほしいと言ってくれ

必要な接触を減らすためだが患者の表情や態度を伺うことができない。研修医には信頼関係を築くのが難しかった。指導医と相談し入院初日と採血結果が出た日には直接会って説明する形をとった。病状説明は方針と目処を伝えるようにし、最後に必ず励ますようにした。ある日不安の強い患者が入院した。非常に状態



高齢者ではなく
障害者でもない方
への支援を通じて

無保険、独居の60代男性の事例です。

この方は退職してから3年間、人と関わる事がなく、食料を買う時だけコンビニへ行くという生活を送っていました。めんどくさいからと髭や髪は伸び放題で、3年間入浴もしていませんでした。そんなある日、自宅で意識消失を起こし市

退院後を見据えた
面談を繰り返して

入院中何度も本人と面談し、病気を繰り返さないよう生活するにはどうすれば良いか話し合いました。初めは聞かれたことにポツリポツリと答え

今回の事例を通して、高齢者でも障害者でもない方を支える公的な支援者が少ないと感じました。いわゆるグレーゾーンと言われる方が、制度の狭間に落ちてしまうことのないよう、垣根に捉われない支援ができる次の繋ぎ先があると良いと思いました。

市役所手続きも
自分のペースで

退院後も滞りなく通院できているか見守りを続



腸活アドバイザーです

千秋病院

看護師 楠瀬 みゆき

腸活アドバイザーの資格を取得したのでみんなにも色々伝えていきたいです。

しみじみとなりました

名南ふれあい病院

薬剤師 黒神 詩織

鍋が恋しい季節♡
生協わかばの里
作業療法士 園田 麻子
寒くなってきたので、おでんや鍋が恋しい季節になってきました。私は豆乳鍋が好きです！

鍋で冬を暖かく！

南生協病院

看護師 小川 美由紀

新しい土鍋を買いました。これで寒い冬を暖かく迎えられるます！

山崎川に美しいオシドリ

名南診療所

医師 大森 久紀

野鳥観察にハマってちょうど1年。通勤エリアの山崎川がホームグラウンド。なんと今年は得も言われぬ美しい色彩のオシドリが一羽がやってきました。大

日が続きました。

自転車通勤には堪えます

老健かたらいの里

クアマネ 真柄 久美代

あつという間に冬になり、自転車通勤には寒さが堪えます。

あつという間の一年

介護付有料 虹の郷

看護師 森 史香

今年もあと1ヶ月を切りました。あつという間の一年でしたが、それなりに充実してたかな！

クロスワードパズル

クロスワードパズル

クロスを解いてA~Fに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

答え → A B C D E

1	2	3	4	5		
	A					
6						
		7		8	9	
10	11		12	13	B	
14		15				
	16		D	17		
18						

(出題 北メンタルクリニック 事務 幅しのぶ)



〈クロスワード当選者〉
11月号、正解は「暖房器具」。応募総数20通で全員正解でした。次の方々が当選されました。

・佐藤 久美子さん

(協立総合病院)

・渡久地 千絵さん

(南生協病院居宅介護)

・尾藤 雅彦さん

(千秋病院)

〈応募要項〉

あて先は、〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9-3 愛知民医連宛。

①こたえ、②事業所名、③職種、④氏名、⑤近況や紙面の感想、を記入し、ハガキ・FAX・電子メールでご応募ください。QRコード



https://goo.gl/k5hZMy

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

理事会報告

☆日本の高度経済成長期、重化学工業化が進んだため環境汚染が拡大し、経済の繁栄と引き換えに公害で苦しむ多くの患者を生み出すことになりました。今世界では、COP26で議論がされていますが、数々の妥協を重ねながらも、脱石炭・化石燃料の流れにすみ、気候危機を食い止める方向に進んでいます。

☆「いい介護の日」の11月11日は、「介護・認知症なんでも無料相談」に民医連からケアマネ、ソーシャルワーカーなど4人が電話相談に応じました。介護疲れや生活苦など制度から外れた困難な相談事例が多くあり、全体で38件の電話相談がありました。

☆今年の学術運動交流集会は、初めてオンラインで開催し、弁護士の黒澤いつき氏から「人権Cafeへようこそ」自分らしく生きるための憲法のキホン」の講演がされました。午後から6分科会に分かれて医療介護活動等の発表がされ、600名を超える職員が参加しました。

☆年末、奨学生会議では、人権について学ぶテーマで「気候危機と日本の現状と課題」人類が直面する気候危機への対応に何が求められているか」の学習会を開催します。新型コロナウイルス感染症拡大で帰省できない医学生はオンラインを結んで参加します。

【11月26日 第5回理事会 県連事務局長 武田修三】